



エコ・ファーストの約束(更新書)

環境大臣 西村 明宏 殿

2022年10月31日

株式会社 電通
代表取締役社長執行役員

樽谷典洋

株式会社電通は、B2B2S (Business to Business to Society) 企業へと進化させ、より良い社会を実現するために「持続可能な開発目標」を踏まえて、ステークホルダーと協働して地球的規模でサステナブルな社会の実現を目指します。

1 環境保全をはじめとして、持続可能な社会実現に向けた意識啓発、積極的なコミュニケーションを推進します。

- 国連の各機関や、NGO・NPO、有識者など当社グループで築いてきたネットワークを活用し、TEAM SDGsを中心とした活動（環境レポート、SDGsのトレンド等の情報提供）を通して、SDGsに関連する情報提供の機会を積極的に創出し、認知拡大を図ります。
- 電通ジャパンネットワーク各社の従業員および、その家族を対象としたSDGsスローガン募集やSDGs AWARDを実施し、認知促進・意識啓発を行います。
また従業員の環境に関する検定・資格取得を積極的に支援します。

2 脱炭素社会へ向けて、環境負荷の逡減を積極的に進めます。

- 脱炭素へ向けて2030年までにバリューチェーン全体に於いて、CO2排出量46%削減、再生可能エネルギー・グリーン電力の導入使用率100%とします。さらに、あらゆる施策を検討して最終的に2050年カーボンニュートラルを目指します。また「TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures)」に賛同を表明します。
- グループ横断で業界を超えたサステナビリティや環境負荷低減に寄与するプロジェクト推進し、メディア・マスコミ業界のCO2排出量削減実現に向けたサービス提供体制を構築。新たなテクノロジー（メタバース等）を活用して、プロセスの効率化を図り廃材資材・人員数等を最大90%程度の削減を目指します。
- サプライチェーン全体でのCO2排出量及び、環境負荷の低減に寄与するプロジェクト等について、ホームページなどを通して積極的な情報の公表に取り組んでいきます。

3 サステナブルな社会の実現に向けた情報発信や認知拡大を図り、さらに環境保全における課題解決に積極的に取り組みます。

- 自治体・団体・学校との連携、グループ会社を中心として協働にて、SDGs ビジネスソリューションを立ち上げ、多様なケイパビリティを活用し、積極的に循環型社会に向けた情報発信を行い、認知拡大への取り組みを支援します。

主な取り組み

- フードサイクルを創出するプロジェクト
- サステナビリティロードマップ作成
- SDGs への取り組みへの理解と共感を目的とした情報発信等

また、ごみの減量化や資源化、CO2 の削減だけではなく、地域コミュニティの活性化（地域食品循環システムを通して、地域イベントと学校との連携した活動等）や自然環境への取り組みに貢献して行きます。

- 事業活動における持続的な活動と社会貢献の創造、およびサプライチェーンと協働でサーキュラー・エコノミーを構築し、環境保全をはじめとする社会課題に積極的に取り組みます。オフィス等で使用しなくなったプラスチック製品の再利用化によるアップサイクルプログラムを実施し、リユースに社員 1 人 1 人が取り組んで行きます。リデュースに於いてもメタバース展開などを積極に取り組み、2R（リユース・リデュース）が進むシステムの構築を目指します。

株式会社電通は、上記の取り組みの進捗状況を確認し、その結果として事業レポート、及びホームページなどで定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。